

令和5年11月22日

保護者の皆様

摂津市立鳥飼東小学校

校長 中嶋和明

## 学校アンケート（学校教育自己診断）の集計結果について

初冬の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、10月下旬～11月上旬にかけて、お忙しい中にも関わらず、学校アンケートにご協力を賜り、誠にありがとうございました。

以下に集計結果と考察を記載しますとともに、保護者の皆様から頂戴しました貴重なご意見を今後の教育活動へ反映させるべく、教職員一同、力を合わせて取組みを推進してまいりたいと考えております。

（裏面には、児童の集計結果と考察を掲載しておりますので、併せてご覧いただけますと幸いです。）

### 《 保護者用アンケートの集計結果（成果・課題）と考察について 》

#### 【集計結果】

**成果** → 肯定的な回答（「そう思う」「少しそう思う」）が80%を超える項目

6.「学習内容や子どもの様子の連絡」9.「学校へ行くのを楽しみにしている」10.「子どものことについて相談に応じてくれる」21.「授業参観や学校行事の回数は適切」23.「学校・学年行事に参加しやすい」等の項目において、肯定的な回答が80%以上となりました。

**課題** → 否定的な回答（「あまり思わない」「思わない」）が20%を超える項目

4.「家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」17.「基礎学力定着のために十分な量の宿題」18.「宿泊行事等の先行・内容」19.「学校の施設・設備」等の項目において、否定的な回答が20%以上となりました。また、「わからない」の回答が20%以上の項目が5つもあり、これまでの取組みの様子を各ご家庭へお伝えする為の情報発信の方法・中身を再度見直す必要があるか検討してまいります。

#### 【考 察】 → 「課題」として挙げられている項目

(1)「家庭への連絡や意思疎通」については、現在、担任が中心となって連絡帳・電話・健康観察アプリ（リーバー）・学年だより等を通じて行い、必要に応じて家庭訪問や一斉メールの配信を併用しております。結果を受け、より積極的な連絡や意思疎通に努めてまいりたいと考えております。(2)「宿題等の家庭学習」については、昨年度からの継続課題と捉え、宿題の量や中身が子どもたちの家庭学習習慣の定着や学力向上に結び付いているか、改めて見直しを図っているところです。一方「放課後宿題広場」を今年度から再開し、3～6年生の参加希望児童を対象に、週2回学習室を開放しております。(3)「宿泊行事（林間学校・修学旅行）」については、それぞれ6月と10月に実施しており、どちらの行事も「楽しかった!」という感想を当該の児童から多く得られました。(4)「学習環境（施設や設備）の整備」については、今年度、くすのき教室のエアコンが新設された他、夏休みを中心に業者による壁のひび割れの補修や校内LAN（Wi-Fi環境の整備）の工事が行われました。同じく夏休み中に、校務員による廊下のワックス掛け、机の天板交換、エアコン内部の清掃を行うなど、環境整備に努めております。（それらの様子については、学校HP「東っ子日記」で紹介しております。是非、ご参照ください。）

【保護者】 89人分の回答結果<児童数 147人 (61.0%)・家庭数 117人 (76.1%)>

※肯定的な回答（「そう思う」「少しそう思う」）・否定的な回答（「あまり思わない」「思わない」）

	質問項目	肯定的な回答	否定的な回答	わからない
1	学校は、教育方針や学習内容を伝えている。	79%	15%	6%
2	学校では、分割授業・専科授業など工夫した教育活動を行っている。	65%	14%	21%
3	学校は、保護者・地域の声を大切にしている。	70%	20%	10%
4	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	73%	24%	3%
5	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	72%	18%	10%
6	学習の内容や子どもの様子を、参観・懇談や学年通信などで、知ることができる。	94%	6%	0%
7	あゆみは、子どもの学力を適切に評価できるように工夫されている。	74%	20%	6%
8	学校は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。	74%	15%	11%
9	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	81%	16%	3%
10	学校は、子どものことについて相談に応じてくれる。	81%	8%	11%
11	学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	60%	15%	25%
12	学校は、いじめの早期発見に関して取り組んでいる。	48%	20%	32%
13	学校は、いじめの再発防止に関して取り組んでいる。	47%	17%	36%
14	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	74%	9%	17%
15	子どもは、給食の時間を楽しんでいる。	75%	18%	7%
16	学校は、発達段階に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	62%	10%	28%
17	学校は、基礎学力定着のために十分な量の宿題を出している。	62%	32%	6%
18	宿泊行事（修学旅行・林間学校）・校外学習（遠足や社会見学）は、行先・内容等でほぼ満足できる。	63%	25%	12%
19	学校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる。	66%	27%	7%
20	学校は、子どもの安全確保に努めている。	78%	13%	9%
21	学校の授業参観や学校・学年行事の回数は、適切である。	82%	12%	6%
22	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は、適切である。	70%	17%	13%
23	学校・学年の行事には、参加しやすい。	90%	8%	2%

## 《 児童用アンケートの集計結果（成果と課題）と考察について 》

### 【 1・2年生の成果と課題 】

全ての項目において、肯定的な回答が寄せられるなど、日々の指導の成果を実感いたしました。

一方で、2.「学校へ行くのが楽しい」8.「授業でわからないことについて先生に聞きやすい」14.「先生は学習で自分が頑張ったことを褒めてくれる」の項目については、他の項目と比べ否定的な回答が若干高い結果となりました。今後、これらの項目についても肯定的な回答の数値が高まるよう、継続的に、意図的な働きかけをしていかなければならないと感じております。

### 【 3～6年生の成果と課題 】

まず、成果として昨年度に比べ2.「学校へ行くのが楽しい」11.「授業では、自分の考えをよく発表している」16.「先生は私たちの意見をよく聞いてくれる」の数値に向上が見られました。一方で、3.「あいさつは自分からしている」8.「授業でわからないことについて先生に聞きやすい」10.「話し合い活動では意見を発表することがある」12.「授業はわかりやすく楽しい」13.「授業で実験や観察をしたり、学校外へ観察や見学によく行く」18.「先生はいじめなどで私たちが困っていたら助けてくれる」などの項目で、否定的な回答が高い結果となりました。特に、今年度、残念なこととして18.「先生はいじめなどで私たちが困っていたら助けてくれる」の否定的回答の割合が以前のような状態に逆戻りしてしまっていることが挙げられます。日頃から集団づくりの取り組みや人権集会を中心に、子どもたちに何度も訴えてきたことや粘り強く指導にあたってきたことに、特段大きな変化はありません。この何年間かの指導の中で、改善傾向が見られていた項目だけに、どうしてそうってしまったのか？非常に残念に思うと同時に、その原因を調べ新たな対策を講じなければならぬと考えています。また、10～13については、昨年同様、授業の本質的な部分に関する項目であり、教材研究や授業研究等を通じて改善しなければならぬと考えています。引き続き、学校内外の研修に力を入れ、子どもたちが将来、学習した経験を活用できる授業づくりをめざして、取り組みを進めていきたいと考えております。

引き続き、子どもたちが安全・安心して日々の学校生活を送れるよう、全教職員が意思統一を図って、指導してまいります。

### 【 今後の対応指針 】

今年度から、第五中学校区で「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」の研究指定を受け、本校でも3年間取り組むことになりました。既に、特別活動の一環として、児童会活動や学級会などの取り組みを通じて、成果と課題を検証しているところです。10月末には、国立教育政策研究所の高橋総括研究官から生徒指導実践上の4つの視点①自己存在感の感受への配慮→「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を児童・生徒が実感する。②共感的な人間関係の育成→自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる相互扶助的で共感的な人間関係を創る。③自己決定の場の提供→児童・生徒が、自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験の充実。④安全・安心な風土の醸成→児童・生徒一人ひとりが、個性的な存在として尊重され、学級・ホームルームで安全かつ安心して教育を受けられるように配慮する。等について、直接お話をお聞かせいただく機会に恵まれました。

今後、これらの視点を校内の学習指導や生活指導にできるだけ取り入れ、児童の自己指導能力を高めるとともに、課題改善に向けて着手してまいります。

【 児 童 】 131 人分の回答結果<児童数 147 人 (89%) >

※肯定的な回答（「そう思う」「少しそう思う」）・否定的な回答（「あまり思わない」「思わない」）

	質問項目	1・2年生		3～6年生	
		肯定的な回答	否定的な回答	肯定的な回答	否定的な回答
1	楽しく遊べる友達がいる。	100%	0%	92%	8%
2	学校へ行くのが楽しい。	81%	19%	74%	26%
3	あいさつは、自分からしている。	95%	5%	68%	32%
4	当番の仕事などをきちんとやっている。	93%	7%	84%	16%
5	運動会や校外学習などの学校行事は楽しい。	95%	5%	84%	16%
6	給食は、楽しみである。	95%	5%	84%	16%
7	授業中、先生の話をお聞いている。	90%	10%	88%	12%
8	授業でわからないことについて、先生に聞きやすい。	81%	19%	67%	33%
9	授業内容は「目標を決める」「めあて」「ふりかえり」「話し合い活動」など、工夫されている。			81%	19%
10	話し合い活動では、意見を発表することがある。			68%	32%
11	授業では、自分の考えをよく発表している。	93%	7%	71%	29%
12	授業は、わかりやすく楽しい。	95%	5%	72%	28%
13	授業で実験や観察をしたり、学校外へ観察や見学によく行く。			61%	39%
14	先生は、学習で自分が頑張ったことを褒めてくれる。／自分が努力したことを認めてくれる。	83%	17%	81%	19%
15	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。			83%	17%
16	先生は、私たちの話／意見をよく聞いてくれる。	95%	5%	89%	11%
17	学級の先生以外にも、相談することができる先生がいる。	98%	2%	80%	20%
18	先生はいじめなどで私たちが困っていたら助けてくれる。	95%	5%	77%	23%